

携帯用風向風速計 OT-1004

ハンド風速計 OT-1005

取扱説明書

1. 携帯用風速計は平均風速計、瞬間風速計、積算風速計と、これらに風向計を取り付けたものに大別されます。
2. 本器はそれらの中、平均風速計とこれに風向計を取り付けたもの(OT-1004 のみ)で風速は 30 秒間の平均風速が示されます。風速計の目盛は 0~22m/S まで測定できるようにしたものです。
3. 風速を測定するには、まず本器を垂直に立て、裏側にある 0 点調整螺子を回して指針を 0 から半目盛手前に置き、風杯が回るに従い指針が 0 を過ぎて時計回りに移動していくので、0 点を通過し始めてから時間を測定し、30 秒後に計器の下側にあるレバーを STOP 位置まで引きます。指針が停止しますので、指針が示した数値が 30 秒間の平均風速として読み取ります。
4. 風向を測定するには、風速の目盛版が南を向くようにし、方位磁石の指針を南北線に一致させれば本体の裏側が北(N)、向かって右が東(E)、左が西(W)になります。風によって矢羽が動き、先端の指し示す方角が風向位になります。
5. 三脚を使用する場合、三脚中央部の支柱にしっかりと固定し、三脚を十分に伸ばした上で開き、エレベータ支柱を上下させて固定螺子を締めこむことで止まります。なお、本器が垂直に立つように三脚のスライド部で調整が必要な場合もあります。
6. 風速を測定する場合は、必ず垂直を維持し、傾斜させないように注意してください。風速計の STOP レバーは軽く引いても十分に作動しますので強く引かないで下さい。故障の原因になります。風速の強いときに三脚を使用する場合は、三脚を十分に開き、可能であれば三脚の突端を地面に差し込むようにしてください。落下や転倒による故障は補償修理の対象外になりますので、くれぐれもご注意ください。
7. 風向の矢羽は使用時に手でねじ込んで取付けてください。収納時には故障防止のため外してください。

製造・販売 大田商事株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-8-3

電話 03-3517-2236 FAX 03-3517-2237